

# 令和3年度 第1回 埼玉県社会教育委員会議 会議録

1 日 時 令和3年9月2日（木）13：30～14：45

2 会 場 Z o o m開催 及び 埼玉会館 会議室7B

## 3 出席した委員 （18人）

生駒 章子委員、石川 哲也委員、牛山 佳久委員、大西麗衣子委員、  
大原真理子委員、柿沼トミ子委員、柿沼 光夫委員、加藤 文子委員、  
加藤 美幸委員、坂口 緑委員、高澤 守委員、中島 晴美委員、  
野澤 優委員、平澤 香委員、平野 正美委員、廣澤 健一委員、  
美田 宗亮委員、渡辺 美穂委員

## 4 欠席した委員 （2人）

春山 綾子委員、細屋みどり委員

## 5 あいさつ

埼玉県教育局市町村支援部 石井 宏明 部長

## 6 委員の委嘱・任命

社会教育委員と生涯学習審議会委員の違いについて事務局より説明

## 7 委員の紹介

各委員による自己紹介

## 8 議長及び副議長の選任

議長は坂口緑委員、副議長は美田宗亮委員が選任された。

## 9 議事の経過

### （1）議長の開会宣言

### （2）会議の公開・非公開

議長が会議の公開・非公開を委員に諮り、公開とする。

傍聴者なし

**(3) 会議録署名委員の指名**

議長から生駒委員と石川委員が指名された。

**(4) 議題及び経過**

**ア 議題**

- 教育局の主な社会教育関係事業について
- 今期の議題について
- 社会教育関係団体運営費補助金について

## イ 経過

(議題1) 教育局の主な社会教育関係事業について  
事務局より説明

議長

県の教育局が行っている主な社会教育関連事業について、説明いただいた。

委員の皆様から何かご意見や、ご質問があればぜひお受けしたい。市、埼玉県社会教育全般に関することでも結構だがいかがか。

(特に意見無し)

議長

前期の委員の方々のご議論のおかげで、外国人親子への支援のモデル事業を走らせることができている。

社会教育委員の歴代の方々アイデアが一つずつ地域に具体的に降りていくということもあるのでぜひ、皆さんからお話いただければと思う。

(特に意見無し)

議長

それでは、2つ目の議事に移らせていただきたい。

(議題2) 今期の議題について  
事務局より説明  
「今期は、『ネット依存や不登校等の現代的な課題に対する社会教育としてのアプローチ』を議題として考えている。」

議長

今期の議題についてである。

具体的な議論は今後いろいろな資料やデータを見ながら進めていくことになるが、まずはこの議題に関して何か明らかにしておきたいとか、質問したいということがあればぜひお願いしたい。

委員

令和3年度の社会教育委員会議の議題についてだが、不登校の問題、ひきこもりの問題、或いは子供の貧困の問題、ネット依存というのは、学校教育の中でも大変大きな課題だ。

これを解決するためには、教育だけでは難しい。私どもも同じ市の中でも、福祉の部門であるとか、医療の部門であるとか、そういったところとの連携を強化して対応しようとしている。

これからのこの議題を進めていくにあたっては、あくまでこの社会教育委員という範疇の中で、この問題の解決を議論していくという理解でよろしいのか教えていただきたいと思う。

事務局

議題としては社会教育としてのアプローチだが、もちろん他部局との連携が必要と思う。

この会議で、どういう連携をするか等も含めて忌憚のないご意見を聞かせてほしいと思う。

委員

基本的なことの確認だが、ネット依存やひきこもりというのは必ずしもお子さんだけではなくて、大人も含まれてくると思うが、それに対して不登校とか子供の貧困はお子さんをターゲットにしていると思う。

社会教育という意味では、年齢は関係なくて、今我々を取り巻いている環境の中で起きている課題に対して、どういうアプローチをしていくかというふうに考えていけばよいのか。

事務局

令和元年と2年の時にも、議題として、子供たちと大人のひきこもりの問題について等、いろいろ意見が出ている。支援の在り方や対象となる年齢なども含めて議論をしていただければと思う。

議長

社会教育の面白いところは、必ずしも学齢期にある生徒だけが対象ではないというところだ。

社会や地域の視点から、皆さんが悩んでいる現代的な課題を考えようというご提案かなと思う。

(議題3) 社会教育関係団体運営費補助金について  
事務局より説明

議長

事務局から説明の通り、社会教育関係団体に対して県が不当な統制的支配をしていないかどうかという観点で、ご意見をいただきたいと思う。

こちらに関しては、不当な統制的な支配をされていないということで当会議として了承させていただくということによろしいか。

<各委員から異議なし>

議長

本日の議事は以上だが、その他何かあるか。

委員

前に戻ってしまって申し訳ないが、今後の予定で2年間の予定が一覧になっている。先ほど、委員からも発言があったが、例えば大人でも20年も30年も引きこもっている方もいらっしゃるし、不登校から脱出して社会人に復帰した方とかいろいろいるが、非常に一つずつの課題が重くて、幅が広い。

2回目が不登校児童の居場所、学習機会の提供、3回目がネット依存とあるが、1回完結で終わるような内容でもないと思う。

社会教育委員会議なので、問題を把握するだけでなく、何らかの解決策を提示するところまで持っていく必要があるのではないかと思う。この2年間の予定と進め方をどのように考えているのか伺いたい。

議長

ご指摘の通り本当に重い課題をたくさん並べていて、これをこの短い時間に、私たちが把握して審議して提案するまでいけるのかという根本的なご質問かと思う。

事務局

おっしゃる通りだ。

1回で終結というわけではなく、次のネット依存の回でも不登校との関連等も、もちろん話として出てくるだろうということで入れさせていただいている。

そして1年目に話し合ったこと、不登校とネット依存等の関連やどこ連携すればいいといったことを踏まえて2年目には話し合ったことを、具体的に具現化していきたいということで計画をさせていただいた。

令和5年から議論を基にした事業を実際に実施していきたいというような計画となっている。

細かい部分はこれからまた詰めていきたいと思っている。

議長

令和5年から何かアクションを起こすために、埼玉県の社会教育が、何を優先すべきかということに関しては、委員の皆様の感覚や問題意識がすごく重要になってくると思う。

委員の皆様のご意見や、ご提案というのをこの会議で集約したい

と、私も考えている。

委員

例えば不登校にしても、引きこもりにしても子供への支援が中心だ  
と思うが、そこだけに議論がいつてしまうと結局根本的な解決にはな  
らないと思う。

ネット依存、不登校、ひきこもり、貧困、すべて親が関わってきて  
いるので、この部分をぜひ、しっかりと議論ができるような流れに  
なると良いと思う。

議長

副議長よろしければ何かあるか。

副議長

皆様のご意見を伺って、やはり子供だけにとどまらず、様々な環境  
的要因を考慮しながら、意見を言わなければいけないのだろうと思  
った。

まだ自分の中で整理ができていないので、建設的な意見までつなげ  
られないので申し訳ないが、ぜひ前向きなご意見を伺って、県政に提  
言できるような形で受けとめたいと思っている。

#### 議事まとめ

議長

以上で、本日の議題はすべて終了した。

今後、今回お示しいただいた議題に沿って議論を進めたいと思う。

